

司 第 2 問  
予 —

[配点 2 点]

実施日

/

/

/

正誤

被保佐人 A が保佐人の同意又はこれに代わる家庭裁判所の許可を得ずに B に対して A 所有の甲土地を売り渡したことを前提として、当該売買契約の効力に関する次のアからオまでの各記述のうち、誤っているものを組み合わせたものは、後記 1 から 5 までのうちどれか。

ア. B が A の保佐人に対し当該売買契約を追認するかどうか確答することを 1 か月の期間を定めて催告した場合において、保佐監督人があるときは、保佐人が保佐監督人の同意を得てその期間内に追認の確答を発しなければ、当該売買契約を取り消したものとみなされる。

イ. B が A に対し当該売買契約について保佐人の追認を得ることを 1 か月の期間を定めて催告した場合において、A がその期間内にその追認を得た旨の通知を発しないときは、当該売買契約を取り消したものとみなされる。

ウ. A が行為能力者となった後に、B が A に対し当該売買契約を追認するかどうか確答することを 1 か月の期間を定めて催告した場合において、A がその期間内に確答を発しないときは、当該売買契約を追認したものとみなされる。

エ. A が行為能力者となった後に、A が B から甲土地の所有権移転登記手続の請求を受けたときは、当該売買契約を追認したものとみなされる。

オ. A が行為能力者となった後に、A が甲土地の売買代金債権を他人に譲渡したときは、当該売買契約を追認したものとみなされる。

1. ア エ    2. ア オ    3. イ ウ    4. イ エ    5. ウ オ